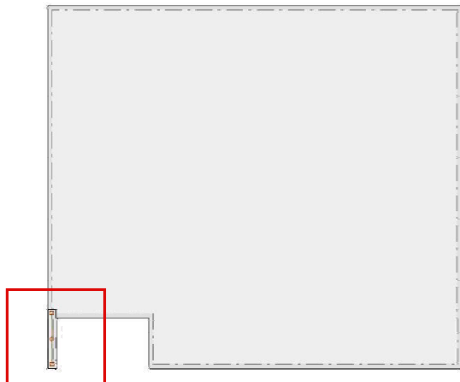


建物基礎を結合する方法

作成した基礎を結合する方法です。



方法1：最初に結合する方法

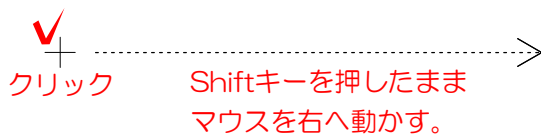
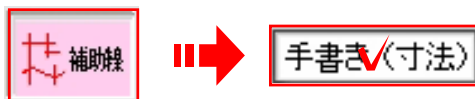
建物形状に独立基礎がある建物の場合はあらかじめ結合して作成します。

方法2：後から結合する方法

独立基礎の作成を忘れていた場合や、後から作成したい時の方法です。


方法1：最初に結合する方法

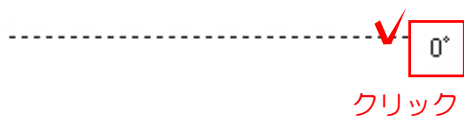
建物基礎の形に補助線を描きます。



1-1：レイヤを補助線にし、**手書き(寸法)**をクリックします。

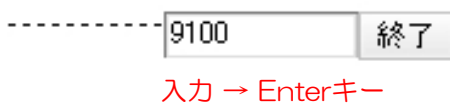
1-2：画面上でクリックし、Shiftキーを押したまま右へマウスを動かします。

 この時、マウスのボタンは離れた状態で右へ動かしましょう。Shiftキーはしっかり押さえておきましょう。

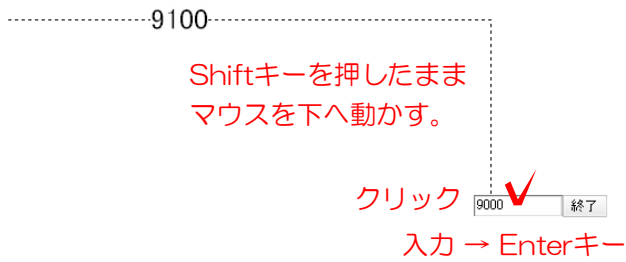


1-3：点線がある程度の長さになったら、「0°」と表示が出ている状態でクリックします。

 Shiftキーはクリックしてから離します。



1-4： が表示されたら、辺の長さを入力してEnterキーを押します。



1-5：マウスを動かすと次の辺の角度指定ができる状態になっているので、Shiftキーを押したまま下へマウスを動かします。

1-6：点線がある程度の長さになったら、「90°」と表示が出ている状態でクリックします。

1-7：[]が表示されたら、辺の長さを入力してEnterキーを押します。

1-8：この繰り返しで建物の寸法を入力し、基礎の形の補助線を描きます。

【辺の寸法や角度を間違えたときは・・・】

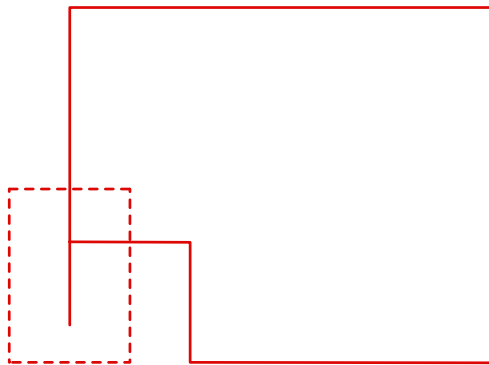
数値を入力してEnterキーを押した後の状態（マウスを動かすと点線がついてくる）で「Ctrlキー+Z」を押します。
作業を1つ戻ることができるので、再度入力しなおしましょう。

【袖壁、独立基礎があるときは・・・】

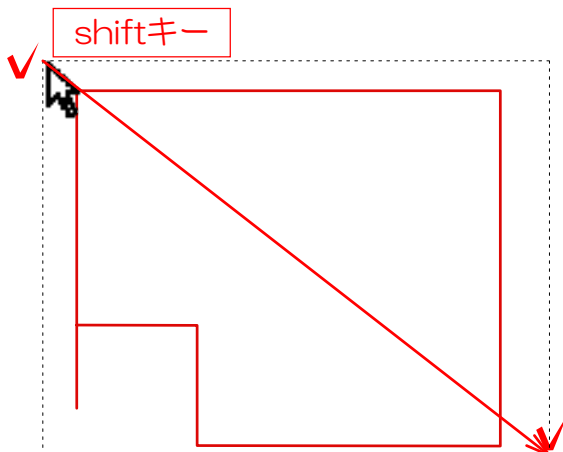
袖壁、独立基礎は補助線部分的に追加して描きます。



[\[基礎に袖壁を作る方法\]](#)で検索



1-9：独立基礎になる部分も手書き（寸法）で作成します。



1-10：作成した補助線をShiftキーを押しながら囲って範囲選択、Shiftキーを押しながらクリックで選択、どちらかの方法で選択します。

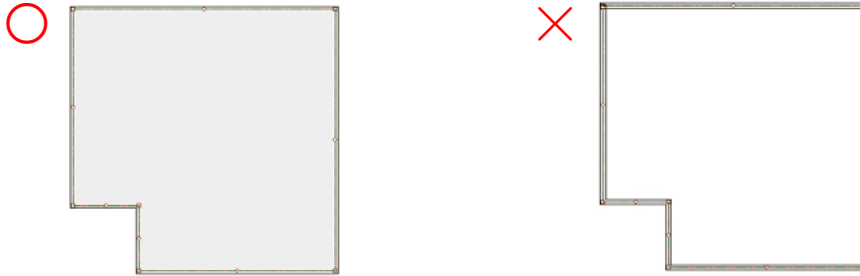
※左は範囲選択の方法です。



1-11：画面右上の「補助線→基礎」をクリックします。

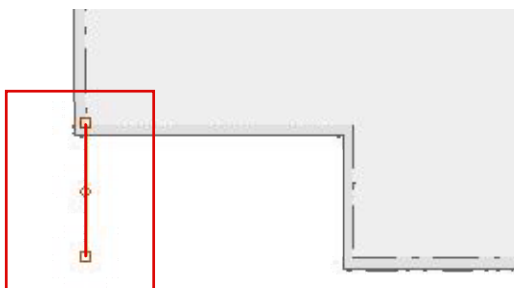
補助線と同じ場所にグレーの基礎ができます。

【作成された基礎の内側が白くなったときは・・・】

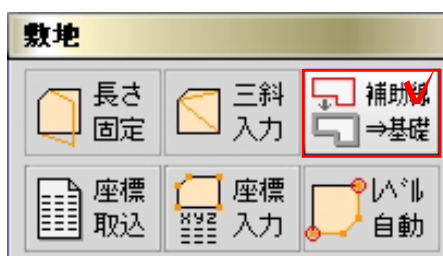


元の補助線の角に隙間ができていると内側が白い基礎ができます。補助線の隙間ができないように描き直して基礎に変換しましょう。

方法2：後から結合する方法

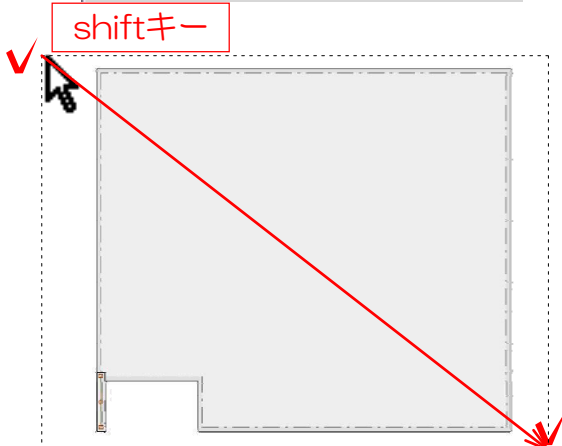


2-1：独立基礎を作成する部分に、建物の中心から下に補助線で作成します。

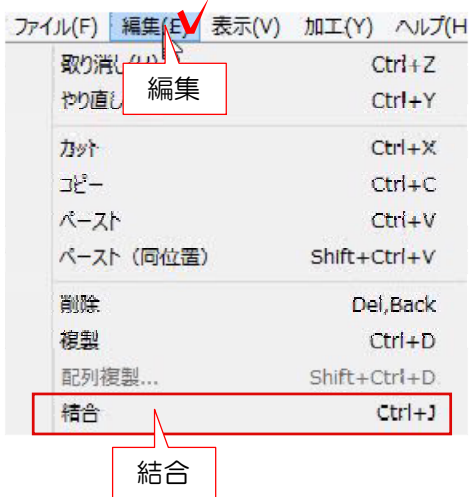


2-2：画面右上の「補助線→基礎」をクリックします。

補助線と同じ場所にグレーの基礎ができます。



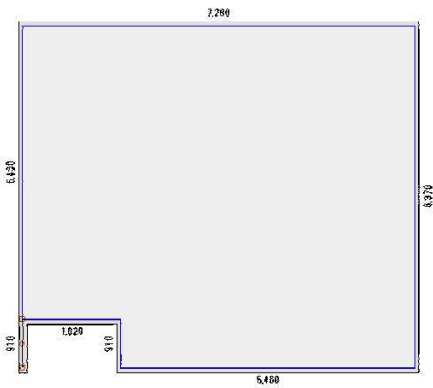
2-3：作成した独立基礎とともに作成されていた基礎を選択します。



2-4：編集メニューから結合を選択し、結合します。

うまく結合できなかった場合は、WEBマニュアルを参照してください。

『基礎が欠けてしまう』で検索



2-5：基礎が結合されれば完成です。